

めざせ! 結城王

結城市では、結城市子ども会育成連合会と共催で、例年『結城郷土かるた取大会』を開催しています。かるた取大会では個人戦・団体戦で戦います。『結城郷土かるた取大会』のルールをご紹介します。

*ご家族みなさまで、結城市郷土かるた『結城王』をお楽しみください。



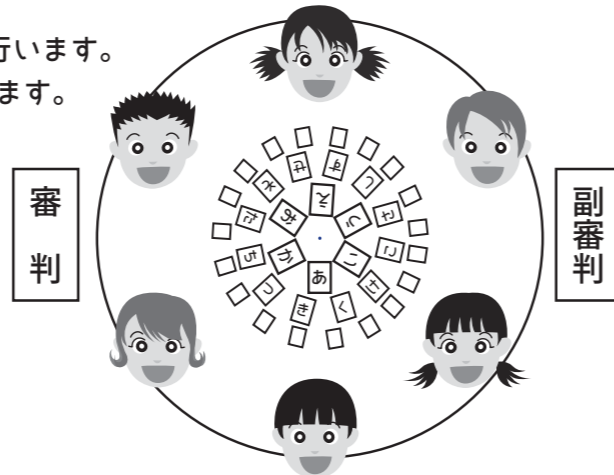
『結城郷土かるた取大会』 [個人戦・団体戦 共通注意事項]

- ① 審判員が絵札を並べているときは、後ろ向きで待ちます。
- ② 競技の始めと終わりには、お互いに「礼」をします。
- ③ 読み手が読み始めるまでは、手は必ずひざの上に置いて静かに待ちます。
- ④ 各審判員は準備完了の確認をして、読み手に「旗をあげて」合図をします。
- ⑤ 大会の場合、読み上げは1箇所（マイクを使用）で行います。司会は全チームの準備完了を確認したうえで、読み手に読み上げ開始を伝えます。かるたの取り合いは、読み札の読み上げが始まり次第開始となります。
- ⑥ 絵札は飛ばさないで、押さえて取ります。
- ⑦ 「を」「ん」の札を読む場合はそこを強調して読み上げます。
- ⑧ 読み手が読み間違いした札は、一度除いて、途中でまた読み札を戻します。
- ⑨ お手つきをした者は1回休み
 お手つきの例…間違ったかるたに手が触れる
 …読み始める前に、手をひざの上に置いていない
- ⑩ 札を同時に取った場合は、審判員の判断でジャンケンをして勝ったものが札を取ることができます。

個人戦

[競技の内容]

- ① 司会の「用意」の合図で審判員がかるたを切り、放射状に均等に並べます。審判員が並べ終わったら競技者は円の中心を向き、「礼」をします。
- ② 対戦は小学生未満の部、小学1・2年生の部、小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生以上の部（中学生～大人）にわかれて戦います。
- ③ 1つのコートの対戦人数は6人までとし、男女混合で行います。
- ④ 41枚の読み札まで読んで、5枚残して競技終了となります。
- ⑤ 会場ごとに予選を2回行い、予選全試合のかるた取得合計枚数の多い選手を勝ちとします。
- ⑥ 同点の場合は、当人同士がもう一度勝負し、先に1枚取得したほうを勝ちとします。
- ⑦ 準決勝戦、決勝戦は1試合だけ行います。かるた取得合計枚数の多い順に順位を決めます。同点の場合は、当人同士がもう一度勝負し、準決勝は先に1枚、決勝戦は先に5枚取得したほうの勝ちとします。

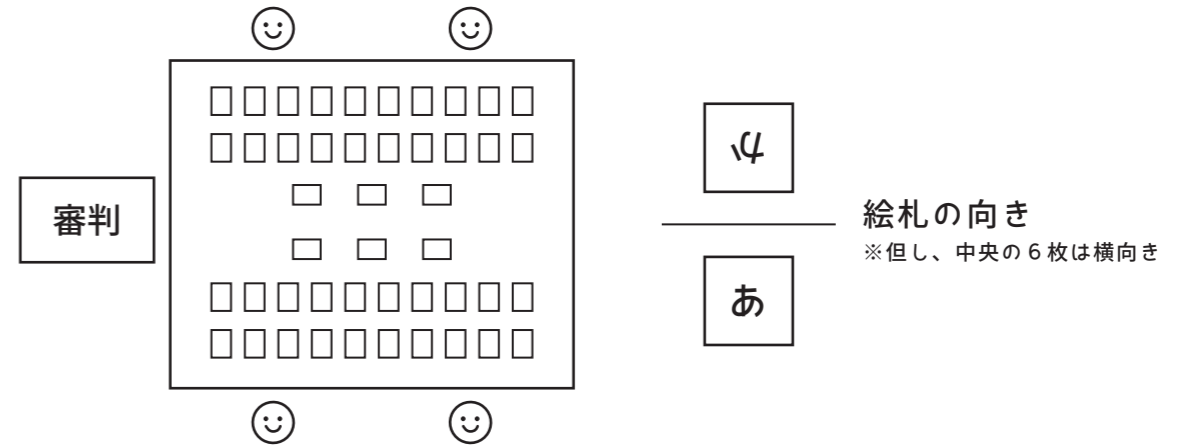


団体戦

[競技の内容] 1チーム6人

《小学校低学年（1～3年生）2名・高学年（4～6年生）2名・中学生2名》

- ① 46枚の絵札を23枚ずつにわけ、下図のように10枚、10枚、3枚と競技者から見える向きに並べます。また、中央の6枚は、競技者から見て横向きに並べます（横文字の札でなくても可）。



- ② 絵札を多く取ったチーム（6人の合計枚数）を勝ちとします。
- ③ 2人ずつ対面で座り、競技の前後に相手チームに「礼」をします。
- ④ 司会の「用意」の合図で審判員がかるたを切り、23枚ずつにわけて並べます。
- ⑤ 小学校低学年14枚、小学校高学年14枚、中学生以上15枚、かるたの取り合いをします。読み札を3枚残して競技を終了とします。



大判かるた

- ① 競技者はスタートラインで待ちます。
- ② 読み手が読み終わったらスタートとなります。その際、読み終わる前にスタートしたらお手つきになります。
- ③ 絵札をランダムに左右に分け、下図のように、絵札の文字が競技者から向かって奥になるように置きます。（下図参照）
- ④ 読み札を5枚残して終了となります。

